

3 静原神社

伊弉諾神と天津彦火々瓊杵神を祭神とし、社伝では4世紀頃の創建となっている。杉の古木などと相まって威厳のある社殿をもち、春と秋の祭礼をはじめ1年にわたり各種の行事が行われる。下鴨神社の「御蔭祭」と「葵祭」に静原の住民が参列する習わしが続いている。



薬師寺跡

浄土宗知恩院浄光寺の末社。本尊は薬師如来。1685年(貞享2)、清盛浄徳により創建されたが、今は廃寺。

普(補)陀洛寺旧跡

959年(天徳3)、歌人清原深養父が山荘を寺とした名刹。小野皇太后が尼となってから一生を過ごした場所でもある。大原御幸でも、後白河法皇が立ち寄っている。



12 行者さん

昔、各地で男性が行者講を組み、奈良の大峰山(行者さん)へ登山する風習があった。その道中の安全祈願として前の川、大川で禊をし、旅立つという静原川で最も神聖な場所の一つとされたという。

13 静原城跡

文明年間、山本佐渡守尚親が支城として築いた。足利氏に属した時の城主、山本修理大夫尚治が、明智光秀に攻撃を受け、1573年、落城した。



10 灯籠

金比羅山への参詣の道中に建てられた、信仰をあらわし、信者の道中安全を祈る灯籠。深泥池、二軒茶屋にも同種の石灯籠が現存する。



11 普濟寺(禪宗)跡

臨済宗相国寺派山本相国寺の末寺で、観世音菩薩をお祀りしてあった。享禄年間に創建された。現存していない。

大蛇退治

鞍馬寺根本別当峰延上人が、北山の大蛇を退治し、静原奥山に捨てたという。

13

静原ハイキングコース

鞍馬に通じる薬王坂から天ヶ岳方面に進み、水谷別れを過ぎて狩場に進むと静原城本丸跡、二の丸、三の丸を経由して狩場谷入口に出る。
所要時間は、薬王坂から本丸跡までが約120分、本丸跡から狩場入口までが約30～40分、静原集会所から阿弥陀寺の横を通って本丸跡までが約40～60分。

静原上の町

静原上の町

ケヤキ

ケヤキ

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

静原里の市

毎週日曜日
午前8時～午後1時まで

しずはらの里コスモスまつり

例年10月に開催され、当日はコスモス畑の散策や摘み取り、小学生の「静原伝承太鼓」の演奏、また、地元産品の即売や餅つきなどを楽しむことができます。

18 石碑

金比羅山への参道を示す道標。府道40号線が大原へ開通する前には「静原下の町」のバス停付近にあった。

19 岩穴

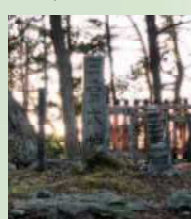
静原小学校の裏山に大きな岩の洞穴がある。穴の中は十数人が収容できるほどの広さで、その昔、武士の隠れ穴として武器が隠されていたとも伝えられている。

20 馬場退

乗馬訓練、戦の訓練をしていたとされる。

琴平神社

室ヶ草金比羅山琴平宮
1166年(仁安元)に大己貴命と崇徳天皇を合祀したのが始まり。全国にあった金比羅講中の参拝者が静原街道を往来しここに参った。ここからの岩倉、京都方面への眺めは素晴らしい。



三壺神社

金比羅山の山頂にある神社。雨壺・火壺・風壺の前で、村人総出で祈り、雨乞いをしたという。静原伝承太鼓の節にも「雨乞い」が伝わっている。

民家

昔は茅葺きの家が多く、その後多くが瓦葺きの家になった。田の字型四つ目建ちの居室と、広い土間には竈があり、屋根に煙抜きが見られる。

土蔵

土蔵をもつ家が多く、壁には火除けの「水」や家紋の彫刻が見られる。漆喰で仕上げられていない土塗りのものも多い。

